

子どもの権利保障

——子どもの声が届く社会に

2022年、「こども基本法」が成立しました(2023年4月施行)。同法には、子どもの権利条約の精神に則って、子どもに関する施策を進めることが明記され、子どもの意見表明・参加の確保も謳われています。子どもの意見表明権は、意見や気持ちを「聴いてもらう権利」とセットです。どのようにすれば、子どもの声や気持ちを聴くことができるのか。本号では、子どもをめぐる制度・政策を検証するとともに、子ども支援に携わる人たちからの問題提起や、制服選択制を求めるオンライン署名を立ち上げた高校生の声などを紹介します。

女も男も No.141—2023年 春・夏号/B5判/96頁/定価1,980円(本体1,800円+税10%)



主な内容

PART 1 子ども政策を検証する

子どもの権利条約とこども基本法

池田 賢市(中央大学文学部教授)

こども家庭庁、発足

平野 裕二(子どもの人権連代表委員)

少子化対策の危険な転換と児童手当

北 明美(福井県立大学名誉教授)

《探る・深める》

共同親権導入で子どもの人権はどうなる?

田島 望(フリーランスライター)

PART 2 子ども支援の現場から

広がるアウトリーチ型食支援

鷹 咲子(跡見学園女子大学教授)

子どもの「やりたい」が学びをつくる

佐藤 洋作(NPO法人文化学習協同ネットワーク代表理事)

子どもへの虐待防止は保護者への支援から

高田 真規子(社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事)

学校へ行かない子どもたちの声を聴くということ

岡崎 勝(名古屋市立小学校非常勤講師・フリースクール理事)

外国にルーツをもつ子どもたちと3つの壁

山田 拓路(NPO法人メタノミア代表理事)

包括的性教育の視点から考える「生理の授業」の課題

小貫 大輔(東海大学国際学部国際学科教授)

PART 3 子どもの声に耳を傾ける

「しんどい」のずっと手前で

山口 有紗(小児科専門医、子どものこころ専門医)

「子どもの声を聴く」子どもアドボカシーの活動

奥村 仁美(NPO法人子どもアドボカシーセンター OSAKA代表理事)

「遊び」は不要不急なのか

安部 芳絵(工学院大学教授)

高校生が制服選択制を求めるオンライン署名を立ち上げたわけ

堀合 愛梨沙(京都府在住、元都立高校生徒)・sora(富山県在住)

子どもが社会問題に声を上げることを当たり前にしたい

遠藤 まめた(オンライン署名サイトChange.orgキャンペーン・サポーター)

注文FAX 03-3288-5577

発行 労働教育センター TEL 03-3288-3322 FAX 03-3288-5577
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-34 千代田三信ビル5F <https://www.rks.co.jp>

■取引取次：日販・トーハン・楽天BN・中央社・日教販

■返品は無期限で承ります【返品了解：遠藤】

| | | | | |
|-----|-------|---|-------|-----------|
| 注文書 | 貴店番線印 | 書名 | ご発注日 | 労働教育センター様 |
| | | 女も男も No.141 子どもの権利保障 ——子どもの声が届く社会に | 年 月 日 | |
| | | 定価：1,980円(本体1,800円+税10%) ISBN978-4-8450-0955-8 | ご担当者名 | |
| | | 冊 | | |